

# 令和2年度 喜多方市立上三宮小学校の教育



喜多方市のつくり指針（児童生徒が目指す姿）

| ＜喜多方市の学校教育＞       |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 全ての子ども「生きる力」を育む   |                       |
| ○ 全ての子ども「生きる力」を育む |                       |
| コンピテンシー（資質・能力）教育  |                       |
| I                 | 自己啓発力                 |
| II                | 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力     |
| III               | 勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力  |
| IV                | 共助、協働の態度及びコミュニケーション能力 |
| 喜多方の3つの共通実践       |                       |
| ☆                 | 授業の質的改善               |
| ☆                 | 自己肯定感を育む活動の充実         |
| ☆                 | 地域と共に歩む学校づくりの推進       |

| ＜めざす学校像＞ |                 |
|----------|-----------------|
| ○        | 楽しい学校           |
| ○        | 明るい学校           |
| ○        | 美しい学校           |
| ○        | 落ち着いた学校         |
| ＜めざす教師像＞ |                 |
| ○        | 専門性を磨く教師        |
| ○        | 教育愛（使命感）に燃えた教師  |
| ○        | 人間性豊かな教師        |
| ○        | 高い倫理観と自律心のある教師  |
| ＜めざす家庭像＞ |                 |
| ○        | 基本的な「しつけ」ができる家庭 |
| ○        | 明るく会話のある家庭      |
| ○        | 共に学ぶ家庭          |

教育目標

心豊かで、実践力のある  
児童の育成

【目指す児童像】

- よくまなぶ子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

【みんなのスローガン】  
みんなとともに、笑顔いっぱい

3つの約束「目標を持とう、思いやりの心を持とう、命を守ろう」

【重点目標】

- 1 自己肯定感を育む学級づくり・学校づくり  
「一人一人のよさを生かす」
- 2 思考力・判断力・表現力、活用・応用する力を育む授業づくり  
「考える・書く・話す」
- 3 豊かでたくましい心と体を育む健康づくり  
「自分の命は自分で守る」
- 4 あたり前のことが、あたり前に実践できる生活習慣・意識づくり  
「ルールを守り、役割・責任を果たす」

＜児童・地域の実態＞

- 学年に関係なく仲がいい。
  - 面倒見のよい子が多い。
  - 明るく元気がよく、素直で優しい。
  - 地域の人との交流がある。
  - 人数が少ないので、子どもどうしの関係性が見えやすい。
- 
- 競争心、向上心、粘り強い心
  - 積極的に自分の意見が言えない。
  - 多様な集団遊びや経験が少ない。
  - 進んでよいことを実行することができない

＜保護者の願い＞

- 自主性、積極性、競争心のある子
  - 進んであいさつができる子
  - 多人数の中でも自分のよさを発揮できる子
  - 自分の考えをしっかりと言える子
  - 相手の気持ちになって考えられる子
  - たくさんの人とふれあって色々と学んでほしい
- ※ 令和2年度学校評価（保護者）より

| 1 自己肯定感を育む学級づくり・学校づくり<br>～一人一人のよさを生かす～<br>「自己肯定感を育みます」 |
|--------------------------------------------------------|
| (1)心の教育の充実                                             |
| ○ 「考え・議論する」道徳の効果的指導                                    |
| ○ 道徳授業の公開（各学年1回以上）                                     |
| (2)学級経営の充実                                             |
| ○ 学級活動の時間（話し合い活動）                                      |
| ○ 認め合い高め合う学級集団（なかたたくタイム、見える化）                          |
| ○ QUTESTの活用                                            |
| (3)生徒指導の充実                                             |
| ○ いじめ・不登校未然防止（支持的風土に満ちた学校づくり）                          |
| ○ いじめの早期発見・早期対応（日々の見取りと確認、報告・組織的対応、重大事案の未然防止）          |
| ○ 教育相談の充実（教師から、子どもから）                                  |
| ○ 生活習慣の定着（よい子の一日の活用）                                   |
| (4)体験活動、異学年活動の充実                                       |
| ○ 児童会活動・集会活動（自発的、自治的な活動）                               |
| ○ 上三タイム（異学年交流）                                         |
| ○ 豊かな体験活動、校外学習（人とのかかわり、本物に触れる）                         |
| ○ 清掃活動（協働）、給食の時間（マナー・残障、遊びの時間（集団遊び）                    |

| 2 思考力、判断力、表現力、活用・応用する力を育む授業づくり<br>～考える・書く・話す～<br>「確かな学力を伸ばします」 |
|----------------------------------------------------------------|
| (1)学びの資質・能力の育成                                                 |
| ○ 自ら学ぶ（学び合う場、リーダー学習）                                           |
| ○ 考える力（考える場と時間の確保）                                             |
| ○ 学習意欲（教材との出会い、めあて）                                            |
| ○ 学習内容の確実な習熟（確実な「まとめ」、習熟の時間の確保）                                |
| ○ 基礎基本の定着（「学力向上タイム」の有効活用、漢字力・計算力の向上）                           |
| (2)読解力・表現力の育成                                                  |
| ○ 読み解く力の向上（ふくしま活用力育成シート・新聞等の活用）                                |
| ○ 書く力・話す力（表現する場の確保）                                            |
| ○ 継続した音読指導（授業、家庭学習）                                            |
| ○ 辞書の活用（活用の日常化）                                                |
| (3)家庭学習の習慣化                                                    |
| ○ 家庭学習スタンダードの活用による自主的な取り組み（学年×10分＋α 90%以上）                     |
| ○ 学年・発達に応じた自主学習の奨励（予習・復習・テーマ学習）                                |
| (4)読書活動の充実                                                     |
| ○ 読書量の増加（読書タイム・週末読書 前年度比10%増）                                  |
| ○ 図書館利用数の増加（魅力ある図書館経営）                                         |

| 3 豊かでたくましい心と体を育む健康づくり<br>～自分の命は自分で守る～<br>「豊かでたくましい心と体を育みます」          |
|----------------------------------------------------------------------|
| (1)たくましい体づくり（走力・持久力）                                                 |
| ○ 走力・持久力の向上（走る時間の確保）                                                 |
| ○ 各種カードによる達成率の向上（朝のマラソン・なわとび運動）                                      |
| ○ 計画的な体力づくり（「運動身体づくりプログラム」の活用・各種記録会の実施）                              |
| (2)健康教育の推進                                                           |
| ○ 無欠席日数（授業日数×50%）                                                    |
| ○ 健康・保健に関する授業の充実（TT指導、外部講師の活用）                                       |
| ○ 健康課題への取り組み強化（早寝早起き 朝食100%）（むし歯の治療率100%）（メディア利用時間の削減）（肥満傾向児童の割合の減少） |
| ○ 立腰（45分の1/3 姿勢維持）                                                   |
| (3)安全教育の推進                                                           |
| ○ 「自分の命は自分で守る」指導の推進（けが・事故防止の具体的指導）                                   |
| ○ 交通教室・避難訓練等の充実                                                      |
| ○ 日常の安全指導の継続（適時性）                                                    |

| 4 あたり前のことが、あたり前に実践できる生活習慣・意識づくり～ルールを守り、役割・責任を果たす～<br>「人としての生き方の基礎を育みます」 |
|-------------------------------------------------------------------------|
| (1)コミュニケーション能力の育成                                                       |
| ○ 「あいさつ・返事・言葉遣い」（声、心）                                                   |
| (2)個のよさを生かした指導の充実                                                       |
| ○ 個性の尊重と活躍の場の確保（支援と称賛）                                                  |
| (3)キャリア教育（学びと職業をつなぐ）                                                    |
| ○ 体験活動の充実（人材活用と地域連携）                                                    |

## 学校経営の基盤

| ＜家庭・地域との連携＞                  | ＜教職員の資質向上＞                   | ＜教育環境の充実＞                        | ＜特色ある学校づくり＞                             |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------|
| ○ 地域人材・地域環境の活用               | ○ 授業改善への取り組み（学びのスタンダード事業）    | ○ 確実な安全点検と施設管理                   | ○ 農業科体験活動の工夫改善「稲作・畑作」（農業科支援員との協力・連携・相談） |
| ○ 「あいさつ運動」の継続推進              | ○ 現職共同研究の質の向上                | ○ 市花いっぱい運動への参加                   | ○ 地域に学ぶ、地域と共に学ぶ活動の推進（公民館、他関係機関との連携）     |
| ○ 学校だより・学年だより、ポータルサイトによる情報提供 | ○ 外部研修会への計画的な参加              | ○ 言語環境（言葉遣い）                     | ○ 幼小中の連携・協力（二中学区改善委員会）                  |
| ○ オフスクリーン運動での啓発              | ○ 服務倫理委員会の活性化（当事者意識、不祥事発生ゼロ） | ○ 興味関心を喚起する掲示                    |                                         |
| ○ 地域行事との連携（区長会との連携）          | ○ 人事評価制度の適正運用                | ○ 学校図書館の整備と活用（学校司書の活用）           |                                         |
|                              |                              | ○ コンピュータの有効活用（プログラミング教育、タブレット活用） |                                         |